

MOJIKO DREAM GALLERY

> 2018.03

会場: JR門司港駅 点灯時間: 日没~22:00

平成30年3月頃まで(工事期間終了まで)

SETARO KURODA X YASUMICHI MORITA

150

[Art direction]

門司港のシンボル、門司港駅は現在保存修理工事中で周りが塀で囲われており、その姿を見ることはできない。その塀を利用したのが、工事中限定の屋外面廊「門司港ドリームギャラリー」。門司区在住のイラストレーター黒田征太郎氏、北九州市で幼少期を過ごしたGLAMOROUS co.,ltd. デザイナーの森田恭通氏が手掛け、門司港の風景などをモチーフにした絵画や写真が並び、夜間はライトアップされ幻想的に浮かび上がる。絵画や写真は計150点で82点が黒田氏制作、黒田氏は駅近くに関門海峡があることから関門タコをイメージした絵を描いた。他は地元画家、門司港駅写真コンテスト受賞作品、門司港歴史写真、公募作品、子供たちが直接ペインティングしたゾーンなどに分かれていてそれぞれの門司港駅を楽しむことが出来る。



©Masako Tagashira

黒田 征太郎 KEIICHIRO KURODA

1939年大阪生まれ。米軍軍用船乗務員など多くの職を経て、1969年長友啓典とK2設立。1994年『野坂昭如/戦争童話集』映像化プロジェクト開始。2004年よりPIKADONプロジェクトを展開し、国内外でライブペインティング・壁画制作・絵話教室等幅広く活動中。2009年ニューヨークより、福岡県北九州へ在住。2011年震災後、神戸・大阪・盛岡・南三陸町にてポスターライブ(売上金全額寄付)。仮設住宅の壁画制作を行う。『火の話』『水の話』(石風社)、『怒る犬 MAD DOGS』(岩波書店)出版。2013年北九州ギャラリー(株)K・Oスタジオ設立。多数ライブペインティング、壁画制作等、現在に至る。



Photo by LSua

森田 恭通 YASUMICHI MORITA

GLAMOROUS co., ltd.
代表/デザイナー

1967年大阪生まれ。2001年の香港プロジェクトを皮切りに、ニューヨーク、ロンドン、上海など海外へも活躍の場を広げ、インテリアに限らず、グラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行なっている。2013年『伊勢丹新宿本店本館再開発プロジェクト』が完成。同年、自身初の物件集『GLAMOROUS PHILOSOPHY NO.1』がバジロ出版より発売。Design For Asia Awards 2014、Iconic Awards 2014、A' Design Award and Competition 2014、The International Hotel and Property Awards 2011、China Best Design Hotels Award Best Popular Designer、THE LONDON LIFESTYLE AWARDS 2010、The Andrew Martin Interior Designers of the Year Awardsなど、受賞歴多数。



ALL KANMONDAKO



地元作家エリア

門司港の地元作家である小島敬三郎氏と穴吹哲二郎氏の門司港に関連した作品を展示したエリアです。お二人の特徴ある画風で描かれた、海峡の美しい夕焼けや門司港駅の懐かしい姿をお楽しみください。

Keizaburo Kojima & Tetsujiro Anabuki



KOスタジオ × グラマラスコラボエリア

黒田征太郎と森田恭通氏がコラボレートし、門司港レトロの象徴的なスポットである門司港駅や関門海峡、そして北九州への思いを独特のデザインとタッチで彩ったエリアです。

Collaboration art

63



市民参加エリア

一般公募の作品や門司港レトロの特徴を捉えた関門絵画コンクールの入選作品と門司港に想いのある方々で彩ったウォールペイントとがコラボレートした市民ギャラリーエリアです。

Citizen participation

32



思い出の門司港駅エリア

大正3年の開業からの様々な思い出写真でお一人お一人のレトロチックな想いを誘います。

Mojiko Memories

32



門司港 ドリームギャラリー

門司港レトロ口倶楽部・北九州市・九州旅客鉄道株式会社・KOスタジオ
お問合せ) 門司港ドリームギャラリー実行委員会 事務局(KOスタジオ内) TEL093-512-9600

MOJIKO DREAM GALLERY

写真やアート計
150点